

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【2】

2. 日時：令和3年8月27日 10時00分～12時00分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

名倉安全規制調整官※、江寄企画調査官※、齋藤企画調査官、義崎管理官補佐、建部主任安全審査官、千明主任安全審査官、服部主任安全審査官※、岩崎安全審査官、宇田川安全審査官、照井安全審査官、藤田審査チーム員、日南川技術参与、中村原子力規制専門員※

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 部長（電源建築） 他19名※

電源事業本部 原子力設備グループ 担当課長 他1名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

・なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	規制庁のテレイです。それでは島根 2 号機の設工認のヒアリングを開始したいと思います。早速ですけど、中国電力から説明をお願いします。
0:00:18	はい、中国電力のアラシバでございます。それと本日はお時間をいただきましてありがとうございます。
0:00:24	ちょっと本日の説明内容ですけれども、島根 2 号の設工認補正の概要ということで、
0:00:32	主な説明事項のご説明と、それから、説明可能時期スケジュールについての御説明をいたします。
0:00:40	説明は担当副長のナイトウのほうから御説明いたします。よろしく願いいたします。
0:00:51	中国電力の内藤です。本日の資料は 3 種類ございますが、まずは資料番号 NS に置か 001 を用いまして、島根原子力発電所第 2 号機の工事計画認可申請の補正の概要について説明いたします。
0:01:08	1 ページをお願いいたします。
0:01:11	目次を示しておりますが、本資料では、島根 2 号機の工事計画認可申請の補正の状況と、
0:01:19	主な説明事項の抽出について説明いたします。
0:01:24	2 ページをお願いいたします。
0:01:28	島根 2 号機の工事計画認可申請の補正に関しては、本文要目表基本設計方針のほか、競技示します主な添付書類を取りまとめまして、2021 年、本年 9 月に
0:01:44	第 1 回補正を実施予定でございます。
0:01:47	耐震性に関する説明書に関しましては、第 1 回補正にて評価解析の前提となる耐震基本方針や
0:01:55	4 章建物等の地震応答計算書について補正予定でございます。
0:02:02	強度に関する説明書に関しましても、兵庫解析の前提となる基本方針強度計算方法について補正予定で、強度計算書につきましては 119 と補正予定としております。
0:02:15	3 ページをお願いいたします。
0:02:18	本年 11 月に第 2 回補正、
0:02:22	来年 2 月以降に第 3 回補正を実施予定でございます。
0:02:27	第 2 款補正では、
0:02:30	耐震性に関する説明書に関しましては、基本方針のうち、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:34	配管及び支持構造物の耐震計算懸案建物関係で、地震、取水槽の地震応答計算書等を
0:02:45	補正予定でございます、各施設の耐震計算書につきましては 100 段 130 図書、
0:02:52	強度計算書につきましては 88 図書、
0:02:56	補正予定としております。
0:02:58	第 3 回補正では、施設個別に要求される説明書 3 図書補正値を補正予定でございますが、これは原子炉本体廃棄等、
0:03:09	原子炉格納施設の基礎に関する説明書でございます、耐震関係の図書となります。
0:03:15	その他耐震計算書について 332 図書強度計算書について 53 図書を補正予定でございます。
0:03:25	4 ページをお願いいたします。
0:03:28	失礼しました。323 ページで各補正って会の図書数につきましては、前回面談力多少増減しておりますが、増減理由としましては、当初の考え方数え方。
0:03:44	統一したものがございます。具体例としましては 2 ページの
0:03:49	第 1 回補正の耐震基本方針のうち、機器配管系の計算書作成方法という図書につきましては、
0:03:58	添付書類も図書数にカウントしておりましたが、他の図書では、添付書類は別紙については、図書数としてカウントしていなかったもので、
0:04:07	整合図ったことにより、図書数も母数について。
0:04:11	耐震今日方針合計で 22 図書から 14 図書に変更しております。
0:04:18	また計算書につきましては、特に 3 ページの第 2 回補正の耐震計算書図書数が 148 図書から 130 図書となっております、前回から減っておりますが、耐震ケース耐震評価につきましても、
0:04:35	詳細設計中でございます、再解析モデルの
0:04:39	調整が必要となる可能性が確認されたものなどにつきまして、
0:04:43	第 2 回補正から第 3 回補正に補正回仰せ変更させていただいております。4 ページをお願いいたします。
0:04:53	公認審査における主な説明事項につきましては、三つの項目から抽出を実施しております、設置変更許可審査時に詳細設計も食した事項
0:05:07	工認における新たな規制要求バックフィットへの対応事項に加えまして、先行プラントの工認審査状況を踏まえまして、詳細設計に関して当社として御説明したほうがよいと考えるものにつきましても、
0:05:23	その他の詳細設計に関わる、主な説明事項として抽出しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:28	なお、主な説明事項につきましてはヒアリング結果等を反映しまして淳二整理して参ります。
0:05:35	5 ページをお願いいたします。
0:05:39	設置変更許可審査時に詳細設計申し送りました事項につきましては、フローに基づき説明内容の重み付けとしましてAからEの5段階に分類を実施し、主な説明事項として分類ABの事項を抽出しております。
0:05:58	RAWにつきましては、先行プラントと同様でございます、
0:06:05	職位事項。
0:06:07	につきまして、旧規制での建設工認改造工認または他プラントで審査新規制
0:06:16	審査実績があるかを確認しまして、
0:06:19	ノーであれば、設置変更許可審査で説明した詳細設計段階における対応方針変更があるもしくは追加検討項目あるかを確認しまして、
0:06:30	技術AREVA分類
0:06:32	ノーであれば、設置銀行強化審査で具体的数値をもって設計成立性までを説明しているかを確認しまして、
0:06:41	これがNoであれば分類Bと。
0:06:43	なります。
0:06:47	フローのスタート申し送り事項の一覧につきましては、
0:06:52	資料番号NSにほか 002 に示しております。
0:06:58	ここで資料番号NSにほか 002 につきまして少し説明させていただきます。
0:07:06	申し送り事項一覧の表の一番左に、
0:07:10	何番を示しておりますが申し送り事項は、
0:07:14	トータルで
0:07:16	100、
0:07:17	7 項、
0:07:21	で整理させていただいております。
0:07:24	泊申し送り事項につきましては、
0:07:27	関連条分、
0:07:28	項目概要を示した上で表の真ん中辺りに区分を示しております。
0:07:35	区分の凡例を左下に記載しておりますが、①が審査会合コメント②がヒアリングコメント。
0:07:42	③がまとめ資料で詳細設計に申し送る旨を対応方針として記載したのになります。
0:07:51	区分①②につきましては、設置変更許可審査時に当社が提出しているコメントリストのコメントナンバー、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:00	盤連携する会合日浴びを記載しております、
0:08:04	一番左のナンバー7、
0:08:07	2 ページですね。
0:08:11	すみません、1 ページのNo.3、
0:08:17	のところを見ていただきますと、
0:08:23	はい、複数のコメントについて、内容が同様なものであった場合につきましては、一つの行でまとめさせていただいております。
0:08:34	申し送り事項列挙している順番につきましては、条文で整理した上で、区分①の審査会合コメントNo.の順番を基本としまして、関連する内容は並べて記載するようにしております。
0:08:50	これらの申し送り事項につきましては先ほど説明いたしましたフローで直した結果としまして、
0:08:56	分類を記載しております、その分類となった理由につきましても補足的に記載させていただいております。
0:09:06	一番右の欄には分類ABのものにつきまして、これから説明いたします。主な説明事項とのひもづけ。
0:09:16	記載させていただいております。
0:09:20	NUSにほか 001 の資料に戻りまして、
0:09:26	6 ページをお願いいたします。
0:09:35	今後の説明事項となる分類Aにつきましては、1-1 から 1-5 項目ございまして、
0:09:43	1-1 は、地震応答解析モデルにおける建物の基礎底面の付着力、
0:09:50	1-2 は、建物構築物の地震応答解析における入力地震動の評価。
0:09:56	1-3 は横置円筒型容器の応力解析のFEMモデル適用方針の変更でございまして、
0:10:05	本年 11 月に設計方針を説明予定でございまして。
0:10:10	概要につきましては後程主な説明事項について 1 件一葉で示したページで御説明いたします。
0:10:16	7 ページをお願いいたします。
0:10:21	No.1-4 はS/Cの耐震評価で、
0:10:26	12 月、
0:10:28	1-5 は漂流物衝突荷重の設定で 10 月に設計方針を説明予定でございまして。
0:10:37	89 ページには、分類Bのものを記載しております、分類Bは、
0:10:43	1-6 から 1 が 12-7 項目ございまして。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:48	1-6 は、機器配管系の制振装置の適用
0:10:54	一応なお浸水防止設備のうち、機器配管系の基準地震動 S_s に対する許容限界。
0:11:02	1-8 は設計地下水位の設定、1-9 は防波壁域
0:11:07	10 ページの 1-10 は、土石流影響評価、
0:11:12	この 11 番保管アクセスこれ抑止ぐいの関係になります。
0:11:17	1-10 にはブローアウトパネル閉止装置でございまして、すべて年内に設計方針については説明予定でございます。
0:11:26	10 ページをお願いいたします。
0:11:31	1 件一葉につきましては少しポイントを絞って説明させていただきます。
0:11:37	地震応答解析モデルにおける建物基礎底面の付着力につきましては、
0:11:43	三つ目の矢羽のところになりますが、設計に用いる付着力につきまして、信頼性保守性及び地盤のばらつきを踏まえた網羅性代表性認可に対する説明性を向上させる観点から、12 号機建物の近傍において追加試験を実施しております。
0:12:01	追加試験位置は図 1 に示しておりますが、2 号機タービン建物西側としております。
0:12:09	今後の説明予定としましては、
0:12:12	建物の基礎底面の付着力として設定した値の保守性妥当性について第 1 回補正で提出の計算書等にて、11 月以降に説明予定でございます。
0:12:24	11 ページをお願いいたします。
0:12:28	建物構築物の地震応答解析における入力地震動の評価につきましては、
0:12:34	既工認において採用実績のある一次元波動論または二次元 FEM 解析等作用する方針でございまして、解析モデルにつきましては、建設時以降の敷地内追加。
0:12:48	地質調査結果の反映等により最新データをもとに、より詳細にモデル化することとしております。
0:12:55	今後御説明予定としましては、建物構築物、入力地震動の評価につきまして、一次元波動論の入力地震動の保守性の確認。
0:13:06	表層地盤の物性値せん断剛性、減衰定数を一定値にすることの保守性の確認。
0:13:14	高振動数領域の方法等に関する影響検討を行いまして、入力地震動の保守性妥当性を第 1 回補正で提出の計算書等にて 11 月以降に説明予定でございます。
0:13:28	12 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:32	横置円筒型容器の応力解析へのFEMモデル適用方針の変更につきましては、表 1 に示しておりますが、設置変更許可段階ではノーのみFEMモデルによる応答解析を実施する方針としておりましたが、
0:13:49	今回工認では評価の一貫性の観点から、応答解析はJEAG式またははりモデルによって行いまして、そこで得られた荷重を用いて応力評価を行うこととしております。
0:14:02	今後の説明予定としましては、応答解析における方針変更を踏まえましたが、耐震評価を実施しまして、
0:14:10	容器の健全性を第 2 回の補正で提出の計算書にて 11 月以降に説明予定でございます。
0:14:18	13 ページをお願いいたします。
0:14:23	サプレッションチェンバの耐震評価につきましては、建設工認から三次元梁モデルを用いております、
0:14:30	建設工認では、
0:14:35	内部水質量を固定化遵守荷重として扱っておりますが、今回工認の有効質量として扱って三次元梁モデルによる、
0:14:45	地震応答解析を行うことからその妥当性について説明いたします。
0:14:50	また、DB評価及びSA評価ともにSA条件での水位を用いることの妥当性について説明いたします。
0:15:00	地震応答解析モデルにつきましては、鉛直方向の応答精緻に算出するため、図 1 の真ん中に示しておりますが、トラス同等サポートの間にはばね要素を追加した 360 度モデル、
0:15:16	を適用することの妥当性高次モードの影響を説明いたします。
0:15:22	今後の説明予定としましては、新応答解析等の方針につきまして補足説明資料にて 12 月以降に説明予定。
0:15:31	25 と解析の結果につきましては、第 3 回補正で提出の計算書にて、2022 年の 2 月以降に説明があつて、
0:15:39	またリングによるサプレッション・チェンバへの影響軽微であることを三次元FEMで分析した結果を用いて補足説明資料にて説明予定でございます。
0:15:51	14 ページをお願いいたします。
0:15:57	漂流物衝突荷重の設定につきましては、設置変更許可段階で設定した津波防護施設に考慮する漂流物の行政について、
0:16:08	既往の漂流物荷重算定式の適用性を確認した上で、非線形構造解析衝突
0:16:17	衝突解析により漂流物衝突荷重を算定することを説明いたします。
0:16:23	今後の説明予定としましては漂流物荷重算定式や変形構造解析の整理、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:31	及び漂流物衝突荷重の設定について第1回の補正で提出の津波への配慮に関する説明書等にて10月以降に説明予定でございます。
0:16:41	また、漂流物の衝突荷重の影響を踏まえまして、津波防護施設の強度計算結果につきまして、第2回補正で提出の計算書にて11月以降に説明予定でございます。
0:16:56	15ページをお願いいたします。
0:17:00	1-6で機器配管系の制振装置の適用につきましては、
0:17:08	制振装置ね単軸粘性ダンパの3軸粘性ダンパ及びそれらを設置する設備の地震時の構造成立性につきましては、設置変更許可段階にて示した地震応答解析手法による耐震評価結果を説明いたします。
0:17:27	3軸粘性ダンパを設置した配管系の地震応答解析手法につきましては、対角成分が存在するモード空間での運動方程式に対して時間責務を行う方法の詳細と基本妥当性を説明いたします。
0:17:45	また、単軸粘性何とお呼び30粘性ダンパの保守管理の方針について御説明いたします。
0:17:53	今後の説明予定としましては、制振装置を用いた地震応答解析手法と保守管理の方法を方針等を補足説明資料について、12月以降に説明予定でございます。
0:18:09	詳細設計結果につきましては第3回の補正で提出の計算手法で2月以降に説明予定でございます。
0:18:17	16ページをお願いいたします。
0:18:22	浸水防止設備のうち、機器配管系の基準地震動 S_s に関する許容限界につきましては、設置変更許可段階で方針については説明していたものになりますが、浸水防止設備のうち、隔離弁、ポンプ及び配管のバウンダリ機能につきましては、Sクラスの機器配置。
0:18:42	関係と同等の信頼性を確保する観点から、
0:18:45	基準地震動 S_s によるQ値、応力状態IVASの評価に加えまして、弾性設計を地震動SDによる教条応力状態IIIASの評価も実施いたしましてその結果について説明いたします。
0:19:02	今後の説明をいたしましては設計方針については第1回補正で提出の機器、機能維持の基本方針等にて、11月以降に説明予定でございます。
0:19:13	また、浸水防止設備の例を図中で黄色で示しておりますが、循環水ポンプや配管等に対する詳細設計結果につきましては、第3回補正で提出の計算書等にて、
0:19:29	2020年2月以降に説明予定でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:34	17 ページをお願いいたします。
0:19:38	設計地下水位の設定につきましては、各施設の耐震設計の条件となる設計地下水の設置、
0:19:46	につきまして、新設する。
0:19:49	地下水低下設備の考慮の有無について整理しまして三次元浸透流解析を踏まえた設定結果について説明いたします。
0:19:59	また新設する地下水位低下設備につきましては、図 1 の概要で示しております通り配置が決まりましたので、その詳細設計内容について説明いたします。
0:20:13	非定常解析につきましては、観測孔における地下水と解析値との相関を高め、
0:20:21	解析モデルの信頼性を向上させる取り組みについて説明いたします。
0:20:28	今後の説明予定としましては、地下水の設定結果につきまして、第 1 回補正で提出の地盤の支持性能に関わる基本方針等にて 10 月以降に説明予定でございます。
0:20:40	18 ページをお願いいたします。
0:20:46	防波壁につきましては、表 1 に示します通り多重鋼管ぐいつき擁壁につきましては三次元の静的FEM解析による被覆コンクリートの健全性評価
0:21:00	逆Tを平均についてはPS検層等に基づく改良地盤の物性値及びグラウンドアンカーのモデル化を踏まえた健全性評価
0:21:10	波返し重力擁壁につきましては既設と新設コンクリートのとの一体性
0:21:17	三次元静的FEM解析によるケーソンの健全比率性評価について説明いたします。
0:21:26	今後の説明といたしましてはもう廃棄の詳細設計に関わるに用いる地盤の解析用物性値につきましては、第 1 回補正提出の津波への配慮に関する説明書等にて 11 月以降に説明予定でございます。
0:21:42	または防波壁の詳細設計の結果につきましては第 2 回の補正は何か補正で提出の浸水防護施設の耐震性に関する説明書等にて 11 月以降に説明予定でございます。
0:21:56	19 ページをお願いいたします。
0:22:00	土石流影響評価につきましては、防波壁等隣接している管理事務所 4 号館が土石流により倒壊した場合に、防波壁に影響がないことについて説明いたします。
0:22:14	具体的には、管理事務所 4 号館減築することにより、その影響範囲に防波壁が含まれないような
0:22:22	対策を行うことを説明いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:26	今後の説明予定としましては、土石流影響評価の詳細設計の結果につきまして、第1回補正で提出の自然現象に等による損傷の防止に関する説明書に関わる補足説明資料にて12月以降に説明予定でございます。
0:22:44	20ページをお願いいたします。
0:22:48	保管アクセスにつきましては、第3保管エリア近傍斜面につきまして裕度向上のため抑止ぐいを追加配置することについて説明いたします。
0:23:01	抑止ぐいを追加配置する箇所につきましては、図中でオレンジ色の丸で示しております。
0:23:08	なお、図中で青色の丸で示している抑止杭につきましては、現地ですでに設置したものでございまして既設の抑止杭となります。
0:23:19	また、設置変更許可段階で方針について説明しているものになりますが、三次元FEM結果。
0:23:28	もう少し
0:23:29	説明すると、またくい前面の岩肌の肌分かれ部のせん断抵抗力を見込まない条件による安定性解析結果
0:23:41	抑止ぐいを配置しない範囲についての二次元FEM解析結果解析による安定性解析結果
0:23:50	続いて第2回補正提出の可搬型重大事故等対処設備の保管場所アクセスルートにて、12月以降に説明予定でございます。
0:24:03	21ページをお願いいたします。
0:24:06	ブローアウトパネル閉止装置につきましては、設置変更許可段階においてダンパーを採用すること等を説明しておりますが、
0:24:16	加振試験によって基準地震動Ss相当の加振を経験した後の機能維持確認の結果等を説明いたします。
0:24:25	今後の説明予定としましては、設計結果につきまして、第2回補正提出のブローアウトパネル関連設備の設計方針にて12月以降に説明があつてでございます。
0:24:42	22ページをお願いいたします。
0:24:46	新たな規制要求をバックフィットへの対応事項につきましては、
0:24:50	2-1としまして、技術基準規則第45条の2.代々木されているHEAF対策を挙げております。
0:25:00	23ページをお願いいたします。
0:25:05	寄付対策が必要な電気盤につきましては、図1に示す電気盤と定められておりまして、アーク放電により発生するアークエネルギーがアーク火災が発生する敷地を超えないように、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:19	遮断器の遮断時間を適切な設計設定及び非常用ディーゼル発電機停止により、電気盤の損壊を拡大を防止すべき防止できる設計とすることにつきまして、
0:25:32	第1回補正提出の非常用発電装置の出力の決定に関する説明書に係る補説の補足説明資料において、
0:25:41	10月以降に説明予定でございます。24ページをお願いいたします。
0:25:48	4ページでも少し触れましたが、先行プラントの工認審査状況を踏まえまして、詳細設計に係る主な説明事項として、当社として説明したほうがよいと考えるものを第3Qに連携しております。
0:26:04	A3の1は、
0:26:06	配管系に関する用いる新装置の
0:26:10	今日限界の設定、3-2は、原子炉本体の基礎の応力評価に用いる解析モデルの変更。
0:26:18	3-3は復水器水室出入口弁の地震時復水器の影響、3-4は、制御棒破損燃料貯蔵ラック等における排除汚水体積質量減産の適用でございまして、
0:26:34	すべて年内に設計方針について説明を予定を考慮しております。
0:26:42	引き続きまして、資料番号MSにほか003を用いてスケジュールについて簡単に説明いたします。
0:26:51	スケジュールの凡例につきましては、左上あたりに示しておりますが、下参画が工認補正当初提出時期ですが、前回面談時から第1回補正時期につきまして、
0:27:05	8月末から9月末に変更しております。
0:27:10	またひし形につきましては、前回面談上補足説明資料や審査ターン企画室表等の審査資料の提出時期としておりましたが、
0:27:20	各図書の説明開始に当たりまして必要な審査資料提出が当然でございますので、説明開始にあたってのひし形は削除させていただきます、今回は主な説明事項の説明。
0:27:35	実機に着目する形で修正しております。
0:27:40	黄色ハッチングが第1回青色ハッチング第2回いろんな治具第3回補正提出図書でございまして、
0:27:48	青色の波線がヒアリング想定期間黒四角がヒアリング実績を示しております。
0:27:54	備考欄には、先ほど御説明しました主な説明事項について説明を行う図書の行に説明内容及び説明時期を記載しております、資料番号NSにほか001と整合しているものになります。
0:28:11	例えば1ページの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:15	6-1-1-3-1。
0:28:18	自然現象等による損傷の防止に関する説明者では、
0:28:23	主な説明事項のナンバー1が10-土石流影響評価について、12月以降に設計方針と設計結果をまとめて説明する予定でございます。
0:28:38	6-1-3の
0:28:41	1-1-3-2の津波への影響は津波への配慮に関する説明書では、ナンバー1-5の漂流物衝突荷重の設定等、ナンバー1-9-
0:28:54	防波壁についてそれぞれ10月11日に設計方針を説明しました上で、
0:29:01	6ページ。
0:29:05	これもご覧いただくと。
0:29:17	6の
0:29:21	6、検診6-2-10-2-2-3。
0:29:27	6-2-10-2-2と6-2-10-2-3ですね防波壁の地震応答計算書と防波壁の耐震性についての計算書、
0:29:39	こちらで
0:29:43	設計結果について説明いたしますまた、最後の10ページのところで、
0:29:50	6-3の
0:29:53	別添3-2-1。
0:29:57	防波壁の強度計算書につきまして置いても、設計結果について説明する予定でございます。
0:30:06	なお、3、3ページ。
0:30:13	ご覧いただきますと、
0:30:15	いうところの原子炉
0:30:18	建物の6-2-2-2の原子炉建物の地震応答計算書の備考欄で
0:30:26	No.1-2の入力地震動の評価について記載しておりますが、主な説明事項のナンバー1-2自体は減少建物以外の建物全般にも関係するものになりますが、
0:30:40	関係図書として多数ございますが最初にほぼな説明事項について説明させていただく予定の当社の業務のみ備考欄に主な説明事項の情報を記載させていただいております。
0:30:55	スケジュールに関する補足をつけますが、1ページに戻りまして、
0:31:03	3行目に示しております要目表につきましては、第1回補正で96と焼酎96図書を提出する予定でございますが、
0:31:14	そのうちの当初、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:17	につきましては第 2 回補正で規制記載内容の追加を実施させていただくことを考えておりましたそのものを記載させていただいております。
0:31:28	また 1 ページの中ほどの
0:31:30	設定。
0:31:32	設備別の 6-1-1-5。
0:31:35	この設定根拠につきましては、第 1 回補正で 56 図書、
0:31:41	第 2 回補正で 1 図書補正予定でございます、そのように複数回にわたって図書を提出するものにつきましては括弧書きで確保正解に図書数を記載させていただいております。
0:31:54	また、前回面談時間のほうの変更点としましては、
0:32:00	3 ページをご覧ください、
0:32:12	下のほうですね、6-2-2-18 の取水槽の地震応答改正計算、地震応答計算書等、
0:32:22	機器配管系の耐震評価に影響のある間接支持構造物の地震応答計算書に関しましては、
0:32:31	前回面談時に第 3 回補正としていたものを今回は第 2 回補正に変更させていただいております。
0:32:38	また、同じく 3 ページの
0:32:42	上のほうですね、6-2-1-7 設計を床応答スペクトルの作成方針をご覧くださいますと、第 2 回補正のところで、
0:32:53	取水槽ほかの土木構造物についても追加するものを記載しておりますが、機器配管系の耐震評価の前提となる床掘等スペクトルにつきましても、地震応答計算書に合わせて、第 2 回の補正で提出させていただくことを予定しております。
0:33:15	の 4 ページ以降の各施設の耐震計算書につきましては、
0:33:23	前回面談時は基本的に施設単位で記載しておりましたが、今回は基本的には系統単位までブレイクダウンして詳細化しております。
0:33:33	また、今後の説明事項の関連図書や建物関係でリンクする図書につきましては、機器設備単位までブレイクダウンしております、
0:33:45	6 ページのところをご覧くださいますと、
0:33:51	先ほどの取水槽に関連する機器設備についても示しております、
0:33:57	#####
0:34:03	2-86 万人の 10-2-8 や 9。
0:34:09	6-2 の
0:34:11	#####

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:14	1、
0:34:15	いや、16等は第3回は補正で提出する予定としております。
0:34:21	8ページ以降の強度計算書につきましても同様にブレークダウンして詳細化しております。
0:34:27	説明は以上となります。
0:34:30	。
0:34:32	規制庁のテレイです。ありがとうございました。それでは、まずこちら側でご質問等あることはいらっしゃいますか。
0:34:41	それで、
0:34:46	規制庁のチギラです。
0:34:48	それから大粹の話、まず2点させてくださいっていうと、資料のですね、001のほうのノポイントのほうの4ページ。
0:34:59	マナー説明事項の抽出ということで、その中で3ポツの話があって、これは今口頭の説明の中では先行プラントの審査状況を踏まえてっていうことがあったんですけど、ちょっとこの
0:35:14	資料を見た限りだとその他のってなるとマニー
0:35:19	これどういう代物かちょっとわからないので、ちょっとその辺りですね、中実会長になった理由っていうのはですね、具体的にですね。ええと示していただきたいというふうに思いますがいかがでしょうか。
0:35:41	中国電力の内藤です。
0:35:44	ええ、大粹としましては
0:35:48	3ポツのその他の詳細設計に関わる主な説明事項につきましては
0:35:59	他社を見たときにですね、こちら辺は議論になるだろうというところを当社として考えて上げたものでございまして、
0:36:09	内容としましては、
0:36:13	今までちょっと評価方法変わるとか、そういうところでは
0:36:18	今、基本的には先行プラントで議論されてる内容かと認識しております。
0:36:23	ここにどれだけのものを上げるかっていうところがちょっと難しいところがあるんですけども当社として、
0:36:30	先行プラント落ちた上で、
0:36:33	必要だと考えたのこれだと、このような項目だと今のところは考えているところです。以上です。
0:36:40	はい、規制庁のチギラです。記載だけの話なんですけども、1ポツと下にポツっていうのはこれ資料見ただけでどういったものかっていうのわかるんですけどその疼痛がちょっと具体的にですねイメージがわからないので、今あのご設立

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	されたような実践そうですね、ちょっと入れてもらいたいなっていうことなんですけど、いかがでしょうか。
0:37:02	中国電力ナイトウです。了解いたしました資料に反映いたします。
0:37:07	以上です。はい。はい、規制庁のチギラです。2点目ですけど、6ページ。
0:37:14	からの東京第1表の申し送り事項の表の中の内ですね、右から2列目の設計方針の説明で切ったんですけど。
0:37:26	ここでは設計方針の説明実機磁気としているのは、これも許可時からおっきな違いがないのであれば何かこの設計方針ということを特別視しないで、設計方針と設計結果っていうのはセットで説明するのが通常なのかなと。
0:37:44	いうふうに思っているんですけど、これを何か分けた。
0:37:48	理由というか考え方について説明いただけますか。
0:37:58	中国電力の内藤です。
0:38:01	7ページのところをご覧くださいますと、例を挙げて申しますと1-4のサブセッションチェンバの耐震評価。
0:38:12	につきましては、一番右の関連図書の補正会を見ていただきますと、設計結果を示すのが第3回補正トンなんて言いますと、第3課制は中期振ってますが、2月以降となりまして、かなり先になってしまいますんで。
0:38:28	前にですね、
0:38:32	考え方を変えたと書いたというか、説明をしたほうが良いと考えている部分がありますので、そこについては、
0:38:40	何か補正で提出図書、
0:38:43	基本方針等に絡めて、その設計方針については、年内に説明させていただきたいと考えております。以上です。
0:38:52	はい、規制庁のチギラです。設計方針って言うとおっきなのイメージがあって私が先ほど言ったような許可時の方針と何が違うんだっていう
0:39:07	ふうにもですね、取られたりとかするので、今のお話ですと例えば評価条件の適用性とか妥当性とか、そのあたりを一度説明するというふうなことをご理解いたんですけど、そのような理解でよろしいでしょうか。
0:39:26	中国電力ナイトウです。先ほどおっしゃられたことであっております。
0:39:33	以上です。
0:39:34	内容につきましてはちょっともう少しその旨がわかるように、資料修正したいと思います。以上です。
0:39:41	はい。規制とチギラです。わかりましたじゃちょっとわかるようにですね、修正のほうですねといただければと思います。
0:39:48	とりあえず私から以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:52	はい。
0:39:54	規制庁テルイです。ここ。
0:39:59	何かありますか。
0:40:01	エザキですけど、よろしいですか。お願いします。
0:40:05	今回形も後でしますが、5ページですねパワポの5ページの
0:40:12	詳細設計申し送り事項の分類っていうのフローですけれども、
0:40:18	ここで言ってる系ABCからEまでですね、
0:40:23	うん。
0:40:24	分類されたものが通常の取り扱いとしてどう位置付けられているのかということだと会合にも関係してくると思うんですが、会合との関係性というのもしかしたら申すお話しされたかもしれないですけど。
0:40:40	まず説明いただけませんかでしょうか。
0:40:46	中国電力の内藤です。
0:40:50	abcd委員を設置。
0:40:55	設置許可段階から後任に申し送った事項につきましてはすべて審査の中で説明させていただくことで考えております。
0:41:04	Bにつきましては、審査会合道路の話をするかというところではABが審査会合で説明する内容かなと、当社としては考えております。
0:41:16	審査を進めていただく中でABの内容はCが便上がったりとかそういうこともある可能性があるかなと思うんですが、
0:41:26	現状では当社としてはこの分類。
0:41:29	NSDの他の 002 で
0:41:32	全部示しておりますが、この分類で考えているところになります。以上です。
0:41:40	規制庁エザキです大変よくわかりました。ちょっとCいいっていうものがずっと上ですね、作成される説明もされないということとちょっと問題かなと思ったんでちょっとお聞きしました。
0:41:53	ありがとうございました。
0:41:56	はい、ほか何かありますか。
0:42:00	7000 ナグラです。聞こえてますでしょうか。はいお願いしますすみません私ちょっと今、2分間ぐらいちょっと拙速が切れてたみたいで、ちょっと今議論を行ってなかったんですけど、これちょっと、
0:42:15	お聞きしたいことがあって、
0:42:18	この資料の位置付けなんですけど、これって、あの会合資料のイメージでつくってるんだけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:25	会合資料ではなくて、事業者能その他ちょっと記載の説明てるのは、会合での説明なのかヒアリングでの説明なのか、これはヒアリングでの説明の事業者の希望言っているっていう理解でよろしいですか。
0:42:46	中国電力の内藤です。この説明時期に関しましてはヒアリングの説明時期を考慮しております、審査会合でも説明時期等は、
0:42:56	考慮しておりません。
0:42:57	説明時期につきましては当社の希望になります。以上です。
0:43:05	明日はこれはじゃあ会合資料のイメージのように作ってんだけど、介護資料ではなくてあくまでも事業者のと今後のスケジュールとかそういったところの状況等希望を述べているものだとということで理解しました。
0:43:22	あとちょっと基本的な認識をお聞きしたいんですけど、設置変更許可申請でいろんな
0:43:29	論点として説明した内容について、すべて説明を省略しようという意図があるんですか。
0:43:42	中国電力の内藤です。
0:43:47	まず、このパワーポイントについてちょっと補足いたしますと、
0:43:52	第1回補正の後に審査会合
0:43:56	まず、概要の審査会合あると思っておりまして、そこでは国庫能資料ベースに
0:44:04	必要なところと不必要なところがあつた話ですけど、そこを調整させていただいて
0:44:09	新設そのベースとなるものだと考えております。このままだということではないとは思っております。
0:44:19	また、
0:44:23	省略する。
0:44:25	主な説明事項のところ省略するかどうかというのは、今日の御説明で省略したところについてということでしょうか。
0:44:33	ちょっと私が言って説明というのは、介護の説明ではなくて、
0:44:40	設工認の添付書類とか補足説明資料におそらく体系的に整理しすると思うんですけど、設置許可で説明した内容でその内容については、なんていうのかな、もう不問にしますという意識があるんですかっていうこと。
0:45:00	中国電力の内藤です。
0:45:02	5 ページのところからAからEに降っている。
0:45:06	この前NSにほか 0022 申し送り事項一覧を記載しておりますがこれが設置許可から工認段階にもう職てると、当社で認識しているので、
0:45:18	このAからEすべてについて当社として説明をしていくということで考えておりますので、省略する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:25	あとはないと考えております。以上です。
0:45:29	ナグラです。女川のときもそうだったんですけど、設置許可で説明をした内容を
0:45:37	っていうものをさらに充実させて、設工認の添付書類とか補足説明資料に体系的に整理し分類した上で、記載内容を充実して提出してくると思っていたら、許可のときに説明したものを省略したり、
0:45:54	もっと簡単なものにしてしまって、提出されて、その記載の充実に数ヶ月かかったっていうことがあるので、ちょっと認識としてはどこまで中身を説明するかということがあるんですけど、基本的に許可で論点にした内容については、
0:46:13	この資料の内容の構成とか、記載をさらに充実させないようについての説明は必要になるので、このAからEに分類をしたときになんていうのかな。これ欠席に分類してるから。
0:46:30	実績にこのサイトの論点になるようなことが実は落ちこちる可能性があって、そういう意味でちょっとここに書いてあることをだけ重点的に説明すれば審査が終わるわけではなくて、例えばeにしたところであったとしても共通的な適用例があるって言って、時に分類したものを
0:46:51	適用例があるかないか、他サイトで適用実績があったとしても、その適用範囲をちゃんと満たしてるかどうかの確認。
0:47:01	した結果として説明が足りないものってのは結構出てくるんですよ。そういう意味で、ここに挙げたものはあくまでも形式的に分類したものであって実績に審査をしていくと説明すべき事項、それはヒアリング
0:47:19	だけではなくて介護で説明すべき事項もどんどん出てくるというのが実態でポロポロポロポロ出てくるんで、そういう意味でこの一律に整理してっていうこれを、これをですね、あまり前面に押し出しすぎると、逆に審査が硬直化して
0:47:37	後手後手に回るというか、手戻りが結構生じますんで、そういう意味でこのサイトの審査の特徴。
0:47:45	というものをちゃんと念頭にした上でここに上がっていないものであったとしても、
0:47:51	必要な説明が
0:47:54	説明が必要なものは何なのかっていうのを検討していただきたいと思います。
0:48:02	中国電力のアビルです。今ご指摘いただきましたもちろんを設置許可からですね申し送ったものをですね、そのままではなくてですねそれをしっかり詳細に加えてですね、御説明いたしたいと思います。また、
0:48:18	ここに書いてないことでもですね設置許可の中でですね、当社のポイントっていうのはもう我々も十分認識しておりますので、そこら辺をしっかりとですね、御

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	説明するように資料を作り、御説明するというような方向ですね、進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。
0:48:39	規制庁ナグラです。
0:48:41	言葉ではなくて態度で示して欲しいと思いますので、
0:48:45	今ここで書いてあることについては、6 ページ以降で書いてあることは申し送り事項を本当に正確に分析して分類整理した上で、なんていうのかな。説明すべき内容を広めにとっているわけではないので、
0:49:04	そういう意味ではもうちょっと申し送り事項の分析から議員Bについてもしくは事業者がどういうふうに
0:49:13	実際の申し送り事項とかコメントから申し送り事項の記載内容にしてるのかとかそういうところのトレーサビリティがちょっとわからないので、そういう意味で、ちょっと
0:49:26	今の示した内容でいいかどうか判断できないというのが見え見えたところの感想です。
0:49:35	中国電力のアビルです。今の資料のですね、002 のところに要するにAとEまでの申し送り事項のことはしっかり書いておりますけども、これもですねまだまだ
0:49:50	不十分なところがあるというご指摘でありましたので、もう一度今おっしゃられたようなことをですね、頭に置きながらですね、しっかり整理していきたいと思っております。
0:50:03	以上です。
0:50:09	違いっていうのは
0:50:11	申し送り事項の表の
0:50:14	審査会合コメントヒアリングコメントっていうものが実際どうだったのかっていう事ここに書いてある概要っていうことが位置してるのかどうかっていうことが今のところ、まだ調査できてないのでそれについて、事業者のデータを示して欲しいというのが、
0:50:33	すいません私の希望です。以上です。
0:50:38	中国電力のアビルです。ご指摘えーと承知いたしましたそのような資料を作成いたします。
0:50:49	規制庁のエザキですけども、今のお話でもちょっとかぶりしてもよろしいですか。
0:50:56	多分ですね、審査会合等々でまたはヒアリング等で残っている、先送りの関するコメント、
0:51:04	というのはあると思うんですよね。それに対して審査会合や、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:09	ヒアリングで
0:51:12	中国電力は同様に回答しているか、それは先送りしますという回答してるわけですね。
0:51:18	そういったこともわかるように資料を作っていたらいいと思ってますなんでそう思ってるかっていうと、
0:51:27	002 の資料を見るとですね、抜けが多いんですよね、ちょっとこの資料を見る限りだとちょっと信憑性が信頼性がないなど写真競争性がないなんていう所感です。
0:51:40	具体的に
0:51:42	ある例示を挙げたとしたら、この 002 のですね、9 ページのほうをお開きください。ここですねNo.86 ですね。
0:51:51	防波壁の逆T溶液ですけども、ここに書いてあることはグラウンドのモデル化を踏まえた調査結果を説明するかという話ですか。
0:52:03	基本的にももちろんこれされたことって、一番最後にまでやってた議論してた。
0:52:09	もうにもかかわらずですね、結構抜けが多いと思うんですよね、例えば地盤の傾斜ですねキーワードでいうと、
0:52:18	あと地盤の物性値とその範囲、それともまだまだ杭等処理による悪影響、これも確かそちらのほうのパーク等ではあれですね。
0:52:31	詳細設計で具体的に、その妥当性を説明する、その妥当性をですね、詳細設計のほうに、
0:52:39	後任ですね、先送りしたものってあると思うんですよ。それがですね。
0:52:44	全然引き出されて抽出されていないという現状ですね。
0:52:50	よろしいですか。一方で、ブックあって、いわゆるこの資料が網羅性がないということで、もう一度
0:53:01	検討を再検討していただきたいのと、それでその再検討としたプロセスがわかるような資料を作っていたらいいというのはタテベです。それと、それはナグラが入ったのと一緒なんですけど、一方で、001 のパウポのほうを開いていただくと。
0:53:18	一つはですね、
0:53:24	3 ページでは 8 ページですね、8 ページのパウポの
0:53:29	0015 ですね、
0:53:33	8 ページ。
0:53:34	ナンバー1-9 防波壁ですねこれが書いてある文章を見るとですね、概要の部分ですね。
0:53:44	それではですね、さっき言った。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:46	地盤物性の大型改良地盤のですね、生徒がですね。
0:53:52	相当ある程度書いているんですよ。だから、
0:53:56	No.
0:53:57	001 棟。
0:54:00	2
0:54:02	内容が複合してないんですよ。
0:54:05	品質的に問題があるなと思ってますんで、この辺ですね十分検討した上で ね資料はつくり込みしていただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。
0:54:23	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:54:26	今江崎さんからいわれまして申し送り事項につきまして、ちょっと記載が足りない ということ、
0:54:33	申し訳ございませんおっしゃられる通りなのです。そこは充実させていただき たいと思っておりますので、
0:54:40	資料No.002 の 86 番、経営者に地盤の傾斜についてももちろん御説明していくと ころですが、概要について少し簡単にグラウンドアンカーのモデル化した結果 の中にそういったものを含めて御説明するっていう趣旨で、
0:54:57	会議案に就かそれがちょっと読めないような形になっておりました申し訳ござ いませんでした。またパワーポイントとの整合性ということで、こちらにつきまし ても少し等と入れないところがございましたので、ここは十分確認をして、今後 地域をさせていただきたいと思えます。以上です。
0:55:17	町が月
0:55:19	よろしく申し上げます。その他にもですね、なんか 86 だけじゃないですかね、N o.85、83 も抜けてるでしょ。
0:55:28	それと、それはよくですね、ヨシツグさん自身が会合でおっしゃったことも踏ま えてですね、
0:55:37	何か申し送りになってるのかっていうことをもう一度再度ですね。
0:55:41	調査した上でですね、それを概要がわかるようにですね、記載いただきたいと 思います。
0:55:50	もう一つあるんですが、
0:55:52	No.
0:55:54	ナンバー77 って、この 002 の資料がありますよね。8 ページですけども、
0:56:00	ここに書いてある文章もさらっと書いていて、
0:56:05	文章はもう 177 万て、例えばこれ、
0:56:09	中部が
0:56:11	屋外重要構造物の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:14	評価対象断面選定についてと、屋外重要構造物等のに用いる。
0:56:21	提出岩盤区分について説明するってということで、2行目ちゃうんですよね、岩内の一体化ってところ事象としておかしいですよね。
0:56:31	要は駄目選定をするのにヨシツグ岩盤区分についてですねそれと何を言ってるのかさっぱりわからない。
0:56:39	続いてナンバーは78もですね、ここも基本的には2って言ってるんだけど、何が何をもってに作っても全然わかんなくて、
0:56:50	現場、
0:56:51	三次元載せるか要素を使ったからなんですか。多分。
0:56:56	三次元の非線形シェル要素、
0:56:59	決定ではなくてですねモデル化だけでなくて代表性網羅性とか、
0:57:05	もうサイトウた実績の有無ですねという代表性の資料なんかで見れば、評価手法とか、
0:57:13	表現から含めて、
0:57:15	いわゆる設計体系全体で先行サイトと同じか。
0:57:20	ほかですねそういった検討されてますよね、そういった内容を組み込んで考えないと。
0:57:26	もうこれだけでは何でいいなったのかさっぱりわからないと思いますんで、我々としてこのこれが実際にDに続けられるってことがわかるようにですね。さしていただきたいんですよね、例えば設備とか、結構、きっちりとかかなり
0:57:42	文章これでいいかどうか私分野を損害かなんで、正しいと
0:57:51	判断はできませんが、かなり混んでますよね。それに対して土木っていうのは一行か2行ぐらい下がって書いてるだけでなんでBなのか。
0:57:59	いいのか、そういうランクづけしてるかというのがですね。そう。
0:58:04	判断基準がよくわからないんですよね、この辺がちょっとどういう判断基準できちっと
0:58:10	こういうランクづけしてるのかっていうのもわかるようにですね、しっかりと他の
0:58:17	分野のですね、書きぶりも見据えてですね書いていただきたいと思いますがいかがでしょうか。
0:58:25	中国電力のクニシです。先ほどいただいた御指摘ありがとうございます。おっしゃる通りだと思いますので、ちょっと改めまして資料のほう、もう少しご理解いただけるように修正のほうをさせていただきます申し訳ございません。
0:58:40	よろしくをお願いします。
0:58:49	規制庁テルイです他何かありますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:52	ナグラですね、ちょっと途中最初のほうに数分切れ拙速切り出たんでも質問したことを私が聞いたらちょっと。
0:59:34	中国電力の内藤です。
0:59:37	音声がかれたようですけど。
0:59:40	こちらだけの問題とかナグラです。
0:59:43	せながらですね。聞こえますでしょうか。
0:59:46	中国電力ナイトウですね今聞こえますあ、すみません、資料の3ページの
0:59:54	第3回高性能、
0:59:56	内容のところ、2022年2月以降になっているんですけど、この移行と書いてあることの意味を教えてください。
1:00:08	ナグラです。切れました中部電力ナイトウです。
1:00:16	2月以降と出させてもらっているところにつきましてはヘッド耐震第3回補正が耐震評価、もうほとんどなりますが、ちょっとその耐震評価の詳細設計のところ、
1:00:27	進めている段階でちょっと今スケジュール。
1:00:30	精査中の段階で、今のところ2月以降とさせていただいているという状況になります。もう少し精査した上でこの時期は、
1:00:42	決めたいと思っております。以上です。
1:00:45	ナグラです。
1:00:47	聞こえてますでしょうか。
1:00:50	聞こえております。すみません。ということはいけません2月以降、2月に
1:01:00	スケジュール表とかで提出時期が記載されているものは、
1:01:05	これ全体がずれる可能性があるってことを意味してるんですか。
1:01:12	中国電力のアラシバでございます。今のこの2月以降と書かさせてもらっているのは当社の中でも今最速工程として、2月には準備できるということで準備をさせているということ工程を示させてもらっておりますので、
1:01:28	全体工程、の半島状況とかあるかと思っておりますけど。
1:01:34	現在の考えられる工程での状況を記載させてもらっているという状況でございます。以上です。
1:01:42	ナグラです。
1:01:46	率直に聞きますけど、2月にすべて
1:01:49	出てくるみ今今のところ見込みなんですか。
1:02:00	中国電力7.5でございます。全体工程がずれるかどうかの判断もあっていこうという表現をさせてもらっておりますけど、今現状では2月に準備ができるということで進めて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:15	おります。以上です。
1:02:18	これはですね、わかりましたけど、以前もちょっとお話ししましたけど、これまでの実績柏崎とか女川も多分そうなるんですけど。
1:02:31	最後に大部の耐震性の
1:02:35	計算書等出てきて、
1:02:39	最後に出てくる。
1:02:42	補正から大体 8 ヶ月ぐらい最短でかかります。
1:02:47	審査は、
1:02:48	ほとんどこれで期間が決まりますので、
1:02:52	そういう意味では
1:02:54	なんて言うのかな。
1:02:56	年度内ぐらい出てくるとすると、年内は審査を
1:03:02	しなくちゃいけないという状況に多分なると思います。
1:03:06	女川に比べると耐震性に関する説明書が第 3 回に体部、
1:03:13	になっているので、そういう意味ではおそらく全体の工程は第 3 回の補正、
1:03:21	の
1:03:23	主要な経産省特に論点というか、また確認が大変な計算書とかそういうものももし結構あると思うんですけど、こっからが多分勝負になるので、
1:03:38	そういう意味で、ここのところのスケジュールはなるべく早目に確定をさせていただきたいと思います。
1:03:49	中国電力の話でございます。
1:03:51	ちょっとコメントいただきまして、了解いたしました社内のほうでまた調整させていただきます。以上です。
1:04:00	ナグラです。あと、
1:04:03	以前もちょっとお話ししてたんですけど、これ 9 月末に補正をしても 10 月 11 月からいきなり個別の説明内容を沢山しようとするような雰囲気があるんですけど。
1:04:17	沼津基本設計方針とか方針書類
1:04:22	これを聞く場との整合性も含めて説明するのに、おそらく 1 ヶ月から 2 ヶ月かかります。
1:04:32	それで、そのあとに、個別の事項について審査をしていくという多分プロセスなんで、そういう意味でいきなりたくさん一気に説明を開始。
1:04:48	ということには多分ならないんじゃないかなというふうには思いますので、ちょっと今の工程は、こちらが考えている工程とはちょっと
1:04:58	層厚があるかなというふうに思います。それからあと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:04	地元説明が結構あるので、
1:05:10	おそらくこの期間はあまりメンバーもそれはないので審査があまり進みにくいのかなということもあるので、これは個別の調整かと思えますけど、
1:05:25	私が耐震の
1:05:28	本格的な審査を開始する時期ぐらいかなっていうのは個人的に思ってるのは当社わけかなと思ってます。
1:05:36	そういう意味で、
1:05:39	中国電力のこのスケジュールリングについてはちょっとまだチューニングが必要かなというふうに思っています。
1:05:46	年明けから始めても結局エンドは第3回の補正で結局縛りになるのであまり一気に5始めるというスケジュールリングっていうのは、マンパワーの適正な配分の観点からもうちょっと
1:06:05	ムラがあるかなというふうな印象です。
1:06:09	これは主私個人の所感です。
1:06:16	中国電力のアビルでございます今の御指摘他電力もですね基本設計方針を12ヶ月やってそのあと個別の説明をするという段取りでやってるっていうのは存じておましてですね。
1:06:31	我々としてはですね希望としてですね、今回書かせていただいておりますけども、そこら辺の段取りはですね、ご相談させていただいてですね、基本設計方針をやった後に、個別のものをやるというような
1:06:47	もうが流れるにいいということであればですね、我々もそのようにさせていただきたいというふうに考えております。あとは地元の説明をしていただくということでメンバーのこともおっしゃられましたけれども、これちょっとあくまで我々の希望ですので、
1:07:04	そこら辺のことについてもですね。ご指示いただければと思います。以上です。
機材トラブルにより一時録音中断	
0:00:00	F
0:00:03	これまでの
0:00:04	他のサイトの実績等も少し説明の工程の実績等も踏まえて、
0:00:12	実態に合ったなんていうのか。
0:00:17	スケジュールリングというか、そういったものを検討いただきたいと思います。
0:00:23	私からは以上です。
0:00:26	中国電力のアビルです。承知いたしました。
0:00:32	部長テルイです。他何かございますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:00:39	規制庁の服部です。よろしいですか。
0:00:42	どうぞ。
0:00:44	はい。
0:00:45	ちょっと今細かい話になっているのでちょっと細かい話をさせていただきます。二つ目の資料の9ページを例にとって説明しますが、
0:00:57	例えば89とか90から915p
0:01:02	かなと思われるようなところについて確認したいんですが、五条って書いてあって耐震設計って書いてあると、少し違和感がありますので、
0:01:12	そこら辺は少しもう一度適正化をしていただきたいというふうに考えていますが、いかがでしょうか。どうぞ。
0:01:23	中国電力の内藤です。899911につきましては、対津波の審査の中でコメントいただいたものですが内容としましては、耐震設計に関わるものと考えて記載していたんですがちょっと記載についてはもう一度検討いたします。以上です。
0:01:42	はい。規制庁のハツリですわかりました。ちょっとまた検討していただきたいと思えます。
0:01:47	それ90について確認なんですけれども、
0:01:50	この90については、1号機取水槽の全角ダクト部についてはSsに対して損壊しないこともあるんですが、規制庁の側の議事要旨では、
0:02:02	この流量縮小工を設置した場合の管路計算において前提条件として全角ダクト部の形状保持が必要であれば、
0:02:12	移設によって損壊しないことには計上保持できることを説明することっていうのがあっています。
0:02:18	なので、回収ポンプの長尺化とはちょっと関係ないような気がしますので、ここら辺も含めて、もう一番の記載の適正化。
0:02:29	をしていただきたいと考えていますがいかがでしょうか。どうぞ。
0:02:47	中部電力の内藤です。ちょっと今の元のコメントを見ておりますので少しお待ちください。
0:03:31	中部電力タムラです。ご出席いただいているようにちょっとこの厳格ダクトと返すポンプ長時間長尺化は関係ないんだと思いますのでちょっと資料確認して固化適性化させてくださいすいませんありがとうございました。
0:03:47	周長のハツリです。それもう一点あのちょっとついでということで、細かい話になっているので確認したいんですけど。
0:03:55	この1号機取水槽の全額ダクト部について、1000 損壊しないことというのは、
0:04:03	ちょっと記憶によると、流量縮小工が、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:08	堰の所席の
0:04:13	関ですっを設置してる時の
0:04:17	海依存全額と窪特に
0:04:22	固定接合させてるから汚損開しないことを
0:04:33	ヒアリングでコメントしているような記憶もあって、
0:04:38	主流路縮小工を取水管の先端にくっつけるのであれば、もしかすると
0:04:47	このコメントは要らないのかもしれないという気もしますので、このコメント全体について、
0:04:54	もう一度ちょっと精査をしていただいて、そのより、先ほどもありましたけれどもより中身を具体的に書いてもらって、
0:05:04	わかるようにしていただきたいと考えていますが、いかがでしょうか。どうぞ。
0:05:14	はい、中国電力のヨシツグでございます。
0:05:18	はい。
0:05:20	ヒアリングにおけるコメント 109 番のコメントです中身確認いたしました。今ハットリさんがおっしゃられた通りの必要であれば、管路計算上の形状保持ということで必要であればということのコメントでございました。
0:05:36	伊藤。
0:05:39	これにつきましては中身を確認させていただいてですね、向こうの記載についても、先ほど江崎さんからもいただきましたコメントを踏まえまして充実させていただきたいと思えます。以上です。
0:05:51	規制庁の服部です。わかりました。ちょっと細かい話になりますが、続きましてちょっと確認だけさせていただきます。
0:06:00	三つ目の資料、
0:06:04	工程表の中の
0:06:07	6 ページを確認してください。
0:06:12	この中の浸水防護施設の耐震性に関する説明書の中に
0:06:18	6-2-10-2-12 というのがありまして、
0:06:24	タービン補機海水系隔離システムの耐震性についての計算書っていうのもあるんですが、
0:06:30	この隔離システムというのはどのようなものを有しているか説明してください。どうぞ。
0:06:37	中国電力タムラです。こう隔離システムは、
0:06:44	程度タービン補機海水ポンプの出口に弁をつけて漏えいを検知してその弁を
0:06:52	進める塗装そういうものでございます。以上です。
0:06:58	規制庁の服部です。その上の 11 番にある隔離弁

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:03	の附属設備
0:07:06	そのような位置付けでよろしいですか。どうぞ。
0:07:11	あと中国電力の田村です。
0:07:15	ダイエツト
0:07:16	上のものは機器配管とまた隔離弁でバウンダリを構成する静的機器については耐震性で層準順番はネットマ作動する部分もあるんで、ちょっと十一番とは区別して記載しております。以上です。
0:07:32	はい、規制庁の服部です。わかりました。内容については個別具体の審査の中でちょっともう一度詳細に確認しますが、
0:07:42	この隔離システムについては、耐震性については、計算書をつけるけれども、
0:07:49	影響度については計算書をつけないんでしょうか。
0:07:53	例えば
0:07:55	とこだと。
0:07:56	10 ページ。
0:07:58	今共同の経産省があるんですけども、
0:08:01	ここには隔離弁はあるんですが、
0:08:08	クニシシステム。
0:08:10	についてはついてないんですが、これは不要なんでしょうか。どうぞ。
0:08:16	中国電力の田村です。詳細もう一度ちょっと確認はしますけども強度としては、何て当隔離システム部区分認定という言い方が難しいな。
0:08:29	共同についてはそちらにデブいえるつもりです。必要なタブ海水計画システムについても、強度的なものについてが別途評価についてはそちらに統合されている。
0:08:41	することを考えております。以上です。
0:08:45	規制庁の服部です。わかりました。
0:08:50	うん。
0:08:51	申請に対する、その機能維持とかもありますので、耐震性だけじゃなくて協の方も必要なと思いますか。どこかに書いてあればということで、
0:09:02	いいんですけども日必要なところに必要なものを記載するようにしてください。私から以上です。
0:09:11	はい、中国電力タムラです。日と抜けがないように作成いたします。ご指摘踏まえてちゃんと確認をした上で作成を進めます。以上です。
0:09:23	はい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:24	規制庁テレイです。ほかそれ十一番から次の予定があるので、ちょっと各論に入るついてるところがあるので、くれないかコメントがあることを言って先にそつちをやりたいんですけど、くれ何かありますか。
0:09:40	特にないですか、ちょっと私から1点だけバックフィットもので挙げられてるとパワポの何ページ。
0:09:53	最後のほうの22ページですか。今皮膚が挙げられてるんですけど、来工認段階で発生するバックフィットしては、火災感知器の話もあると思うんですけど、それはどうなってますか。
0:10:20	中国電力の内藤です。
0:10:24	火災感知器につきましては耐震工認図書出すんですが、このバックフィットのところに、認識がちょっとなかったの、ちょっとそこは確認した上で必要によりここに追加したいと思います。以上です。
0:10:39	規制庁のテレイです。認識がされてるっていうことなので、わかりましたいるかどうかは検討していただいて、基本的にあれも火災ぼぼ棒審査基準を改正して要求をしたものですので、基本的には広い意味ではバックピットの一部分だと我々は認識をしていきます。
0:11:00	ほかに何かありますか。
0:11:04	ちょっと引き続き各論で確認があれば、ちょっと土地と何か抜けますけれども、引き続きヒアリングは続けていただいて構いませんので、ちょっと司会はバトンタッチさせていただきますけど。
0:11:19	それとほか何か質問ありますかとかさ。
0:11:23	規制庁の鶴沢です。2番目の資料のですね、下火ライザーのところなんですけども。
0:11:31	7ページのですね、66番ですけども、
0:11:39	蒲池下火間のばね定数について、試験結果等の比較を行うところなんですけども、このばね乗数につきましては、その解析の入力条件として用いることが用いますので、
0:11:55	早めにいただきたいんですけども、今出される予定今さんさんさん通り、
0:12:05	なんですけども、どのタイミングでいただけるか。
0:12:08	説明をお願いします。
0:12:16	中国電力のクラマスです。はい。ご指摘の通り、このばね定数の設定については解析の入力条件を構成するものになりますので、審査始まりましたら早い段階まだ1回補正を早い段階での御説明を準備したいと考えております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:33	はい、規制庁のウタガワです。はいわかりました早い段階でお願いページお願いします。
0:12:43	ほかに質問コメントあればお願いします。
0:12:51	はい。規制庁のウタガワです。
0:12:54	パワーポイント7ページのところなんですけれども、パワーポイント7ページの
0:13:00	上のところですね、サプレッションチェンバの耐震評価のところなんですけれども、
0:13:06	dB評価とSA評価ともに、
0:13:10	SA条件での水位を用いると書いてあるんですけども、これが、
0:13:16	と分類として担っているんですけども、
0:13:20	これは、
0:13:22	許可から、
0:13:24	何か追加なり変更なりが、
0:13:29	アビル
0:13:30	あるとそういう理解でよろしいでしょうか。
0:13:41	中国電力のク라마スです。
0:13:43	今のS/Cの絵と水位の条件につきましては、後でB評価及び衛星評価ともに異性条件での水位を用いるというのは設置許可段階での審査で御説明した方針から変更はございませんので詳細設計段階ではその妥当性を詳しく説明させていただきますと。
0:14:02	いうふうに考えております。ここでS/Cの耐震評価を分類AIにしておりますのは、同じ表の
0:14:11	宿泊概要欄のですね下側の一番下の方のパラグラフになりますけども、解析モデルにつきまして、鉛直方向の応答精緻に算出するという観点で等々ラストサポート間にばね要素を追加して360度モデルを適用するというのでこの辺り先行プラントの
0:14:30	審査状況等も確認させていただきまして当社としても、改めて解析モデルの御説明をしたいということでこういった要素がありますので分類Aとしております。以上です。
0:14:42	中国電力の内藤です。少し補足させていただきますけれども、資料の0026ページのところ、
0:14:53	52番から55番がサプレッションチェンバの耐震評価になりますが、ここで分類。
0:15:00	なんていうのが先ほどク라마スが説明した上でBで、
0:15:05	55番とかが整理設定。
0:15:08	そこはBで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:11	考えておりますけど、サプレッション・チェンバについてまとめて、
0:15:15	1-4 で記載させていただいているというところになります。以上です。
0:15:22	規制庁の小高です。はい。ええと水位の面については許可から変わってなくて解析方法が、
0:15:33	変わっているというふうに理解をしましたけれども、
0:15:38	すいませんパワーポイントの 13 ページにそのあたりのことがあるかと思えますけれども、
0:15:46	すいませんちょっと確認ですけれども、そのDB評価でもSA評価でもSAの水位を用いるっていうのは、これは、
0:15:57	保守的な
0:15:59	解析になっているのかなっていうのはちょっと少し念のため確認なんですけども、まあ、DBのほうが水位が低くて温度も低く低い訂正のほうは水位も高く温度も高い。
0:16:13	なんですけれども、SAの条件で一つでやるように見えるんですけれども、念のためもう一度考え方を説明いただけますでしょうか。
0:16:32	中国電力のクランプです。
0:16:35	あと、
0:16:36	今のSAとDBの評価条件についてのところでちょっと1点まず入ったり等ご説明させていただきたいのが、ここでB評価とSA評価で共通に用いますのは水条件になります。今ウタガワ審査官の方からは温度というような
0:16:52	ワードもあったかと思うんですけれども、また温度圧力等の条件については、PS Aでそれぞれ適切な条件を設定して評価を行いますので、はい共通の条件とするのは推移ということになりますんで、水位につきましては、ご認識の通り、SA時の条件のほうが高い。
0:17:11	水位となりますので、そうしますと水位が高いということは質量も大きい荷重も大きいということになりますので、そういった条件を用いて評価することが保守的だという判断でそのような方針としておりますMark詳細の妥当性については、工認の審査の中で、
0:17:28	配置から御説明して参りたいと思います。以上です。
0:17:34	はい、わかりました。ちょっとですね文章だけ読みますと、DBとSAで一通りというふうには読めたんですけども。
0:17:43	クランプさんの御説明で、それぞれ別に温度圧力をDBSAで設定しますっていうご説明いただいたので、
0:17:53	はいわかりました。詳細については、
0:17:57	今後説明いただければと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:01	そのほか質問コメントあればお願いします。規制庁ナカムラですよろしいでしょうか。
0:18:10	どうぞ。
0:18:12	やっぱり細かい点になってしまうんですけれども、地上 003 とスケジュールで耐震計算書とかは詳細化されて項目が多くなったということで御説明があったんですけれども、
0:18:29	2 ページ目の真ん中ちょっとスター仮の
0:18:34	6-1-7-3 の別添 5 の中央制御室外出省令に係るストリーミングの考慮についてなんですけれども、これ前回の面談資料では記載がなくて単純に漏れてたのかそれとも何か理由があって、追加されたのかっていうご説明いただけますか。
0:18:54	中国電力の内藤です。御説明漏れており、申し訳ございません、ここに関しましては先行プラントをしっかりと確認したところを、この図書もついてたということを確認して
0:19:08	その管理票のほうにも追加したということになります。ちょっと管理表のほうから漏れていたということになります。以上です。
0:19:18	静聴ナカムラ了解した条線この確認していただいて追加されたということで先ほどハットリからもありましたけど漏れないように、網羅的に記載をいただければと思いますのでよろしくをお願いします。私からは以上です。
0:19:35	中国電力ナイトウです。了解いたしました。
0:19:38	ほかに何か質問ある方いらっしゃいますか。
0:19:47	ナグラです。ちょっと 1 点だけ確認したいと思います。
0:19:53	ポイント資料の 14 ページなんですけれども、
0:19:58	これ漂流物衝突荷重の設定というテーマで漂流物対策を踏まえた詳細設計の結果を説明するって踏まえたって書いてあるところがちょっと気になっていて、
0:20:13	ちょっとお聞きしたいのは漂流物対策工は、
0:20:19	最終的に設置をするという理解でよろしいですか。
0:20:32	中国電力シミズです。
0:20:35	はい、御理解の通り
0:20:37	漂流物衝突荷重
0:20:40	の算定をいたしまして、今日踏まえと書いておりますが基本的には当漂流物衝突か防止工の方への設置するということで考えてございます。以上です。
0:20:52	民主党の方。
0:20:57	規制庁のナグラです。
0:21:01	わかりました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:03	そうすると漂流物衝突荷重の中身として、項目として漂流物対策工のあの構造仕様とか設計の考え方とか、そういったものも今回この漂流物費対策はどういうものかということにもよるんです。
0:21:23	だけど、これは説明が必要だと思しますので、項目のほうにはしっかりそれをわかるように記載をしてください。以上です。
0:21:40	ほかにご質問ある方はいら取極原爆シミズです。はい。Point法令御説明させていただきます。以上です。
0:21:50	ほかにご質問ある方いらっしゃいますか。
0:21:56	規制庁の矢崎です。
0:21:58	私からはですねちょっとこれで最後にしますけども、ちょっとナグラの方からやったようにですね、額の 14 ページですね、デパートの 14 ページの表という物衝突荷重設定に関してですけども、類似の検討フロー。
0:22:14	見ると、
0:22:16	今潜航サイトウの女川ですね工認っていうのは、今、審査中ですが、今ここの漂流開削か調査漂流物衝突荷重の設定に関してはかなり類似してる。
0:22:33	ですよ。週目までと。
0:22:36	そちらのほうですね。
0:22:38	審査会合はほぼ概ね妥当ということ形でですね、一応完了はしてますけども、そういうことも踏まえてですね、市まで等のドアの
0:22:52	類似性やそういうことを踏まえてですねちょっとフローがちょっと女川とはかなり違ってきてますんで、その辺もどう考えるかということも踏まえてですね、系統いただいたほうがよろしいかなと思いますんで、その辺は潜航サイトウ実績をですね。
0:23:07	よくよくですね、分析して検討いただきたいと思います。以上です。
0:23:13	はい、中国電力のヨシツグでございます。
0:23:17	健康サイトの審査状況を我々も確認をさせていただいております。
0:23:22	で、ここの部分につきましては、設置許可で記載させていただきましたフローチャートをお示しさせていただいております。
0:23:31	企業の漂流物の
0:23:34	と衝突荷重の適用性についてももちろん先行でもやられておりますように我々も十分確認をして、それを見た上で、ここに少し記載させていただいている通り設置許可例でも少しご説明させていただきましたけれども衝突解析
0:23:50	による荷重というものも算出してですね。それで、今後説明をしていこうと思っております。女川サイトの先行サイトの状況も踏まえまして、この辺りの記載を充実させていただきます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:10	はい。他にご質問あること。
0:24:14	いらっしゃいますか。
0:24:17	ナグラです。あと、ちょっと1点。
0:24:21	18ページに防波壁の内容が入っているんですけども、
0:24:28	設置変更許可段階で、
0:24:32	防波壁については、複数の構造形式で地盤改良を追加しますとか、これは止水性の観点とか、支持性能の確保の観点で地盤改良を追加したり、
0:24:47	あと防犯閉機能中詰めの中詰材の効果での剛性を確保するとか、そういう方針は述べていて、ただ詳細設計段階でその範囲とか、
0:25:03	なんて言うかな。改良の箇所とか、そういったものの形状とかも含めて詳細設計で確定すると思うので、そこら辺
0:25:16	改造というか許可の段階に構造を若干
0:25:24	構造強化するというふうな話をしているところについては実際許可時から、どういうふうに
0:25:35	許可時からというか、詳細設計段階でどういうふうに計上と物性を確定したかというところ、これは説明をしていただく必要があるかと思しますので、
0:25:50	そこが明確な論点には多分ならないと思いますが構造が確定したということの内容は説明の中に入れていただきたいと思います。
0:26:01	以上です。
0:26:03	はい、中国電力のヨシツグでございます。
0:26:06	今ナグラさんがおっしゃられた通り、追加ありえ等を指示機能ですとかの止水性ということで改良地盤も追加しますと、その範囲は詳細設計の段階でお示ししますと聞いておりましたし、
0:26:20	計算の中で上の回路につきましても、どういったものをやるかということで構造成立性で御説明して班員もあわせて御説明集と聞いておりましたので、これからの説明資料の中でそういったことがわかるようにですね、あの地域をさせていただきたいと思います。以上です。
0:26:42	はい、ほかにご質問ことはいらっしゃいますか。
0:26:54	はい、よろしいですかねでは、
0:26:57	これで本日のヒアリング終了したいと思います。ありがとうございました。
0:27:05	ありがとうございました。
0:27:08	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。